

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	社会福祉法人 伸康会 就職準備教室 ココジョブジュニア				公表日 2025年 2月 25日
環境・ 体制整備	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	1	・活動内容により、部屋を替えたりしている。 ・使えるスペースは最大限に活用しているが、普段過ごす部屋と活動部屋が分かれていたり、使える部屋がもう少し広い方がいいかなと感じる。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	2	・スペースが広がったのでもう1名欲しい。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	かつ同を行う部屋に色のマークを付け、子ども達の移動を自ら行えるようにしている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	毎日掃除機と除菌スプレーを使用して清掃している。
業務改善	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	職員の許可を録れば別の部屋を使用できることを日々子供たちに伝えている。
	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	2	3	支援会議・策定会議・振り返りミーティングを行うようにしている。 ・全員参加しているが、毎日ではできない。 ・振り返りが弱い。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	3	・把握する機会は設けているが、改善に繋がっているものと繋がっていないものがある様に感じる。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	朝のミーティングで各自の意見を聞き、次の活動に反映するようにしている。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	5	法人の研修は定期的に行っている。外部研修は個人任せなので、何かの基準が必要である。 ・法人内研修は行っているが、現場で実践できる内容ではない。 ・外部研修は個人差が出ている。
適切な 支	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	2	HP上に作成し、公表されている。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	児発管と職員が話し合い、保護者のニーズも取り入れて計画を作成している。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0	同上
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	同上
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	個別の計画には各方向からの支援が網羅されるよう支援内容を設定している。 ・必要最低限で進めている。きめ細かくツールを使っていくには、マンパワーが少し足りない。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	0	5	・家族支援、移行支援、地域支援については、再度話し合いを行い、確たるものを目標として掲げたい。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	1	リーダーを決め、チームで行うようにしている。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	1	個別にみていくと改良が必要なことがあり、その都度試している。 ・振り返りをしながら改良していきたい。 ・工夫はしているが、固定化が見られる。
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	1		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
援 の 提 供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	3	2	そのように支援している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	1	4	朝のミーティングで当日利用の児童の状況を全員で共有するようにしている。注意事項と役割を決めている。	・「必ず毎日」ではない。 ・時々できていない日がある。 ・その日によってできない日も多く、それぞれがどんな内容で活動するか、したのかの把握が出来ていない。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	1	4	送迎が終わってからの短い時間で気になることの報告をしあっている。	・「必ず毎日」ではない。 ・今後開始予定である。 ・次に日に前日の振り返りをする様にしているが、できていない日がある。共有にも課題あり。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	連絡簿にほぼリアルタイムにその日の支援記録と児童の様子を記入している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	定期的に行い、見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。	5	0		・地域交流の機会の提供が弱い。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	1	自己決定を正しくできるように療育活動を組んでいる。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	2	事業所からは良く知った職員が参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	2	現在のところ、必要な連携先は学校と保育園が主である。	・学校、保育園とは、良く出来ている。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0	毎月・毎週学校との情報共有は行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	1	なるべく当事業所の利用が始まる前に保育園などに訪問して情報を頂くようにしている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	1	相談支援員を通じておこなうようにしている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0	5		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	5		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	2		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	連絡帳・送迎時の会話・メールなどを通じて伝えあっている。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	5		・家族支援プログラムの作成を行う。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	1	見学时と契約時に重要項目説明を丁寧に説明するよう心掛けている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	1	保護者の希望を尊重しつつ、子どもの最善が何なのかも考えて頂けるよう提示している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0	同意を得ている。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	相談には早く適切にこたえられるよう努めている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	5		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	1	迅速に対応することが信頼につながると信じて、適切に対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	0	事業所新聞の発行とHPの更新を行っている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	日々職員に周知している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	個別の配慮が正しかったかをミーティングで確認し合っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	5		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	1	毎年避難訓練を行っている。	・それぞれ作成しているが、周知されていない。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	1	計画策定をするともに避難訓練を行っている。	・それぞれ作成しているが、周知されていない。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	0	個別に服薬の確認を行い、職員間で情報共有している。変更があった場合も随時。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	保護者を通じてアレルギーの有無と対応を確認している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	1		・いろんなパターンを想定した訓練が必要と感じている。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	2		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	1	共有して話し合っている。グループの安全課長にも指導してもらっている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	虐待防止の研修を行っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0	事前説明と計画書期k際している。		